

アポカイン[®]皮下注30mgを 使用されている皆様とご家族の方へ



監修

医療法人徳隣会 つつみクリニック福岡パーキンソン病専門外来センター センター長
順天堂大学大学院医学研究科PD長期観察共同研究講座 特任教授

坪井 義夫 先生

大原薬品工業株式会社

APOKYN[®]

CONTENTS

このくすりの名前、有効成分など	2
このくすりを使う前に知っておいてほしいこと	2
このくすりはたらきと使用目的	3
このくすりの投与について	4
このくすりの使い方	5
副作用とその対策	6
くすりの使い方Q&A	7
くすりの保管方法と注意点	8

このくすりの名前、有効成分など

アポカイン®は、ドパミン受容体作動薬という種類のくすりで、パーキンソン病治療薬として初めての皮下注射製剤です。このくすりは、日常生活で出現するオフ症状を速やかに、一時的に改善します。

製品名	アポカイン®皮下注30mg
一般名(有効成分)	アポモルヒネ塩酸塩水和物
有効成分含量	アポモルヒネ塩酸塩30mg**／1カートリッジ(3mL) **アポモルヒネ塩酸塩水和物としては30.9mg



このくすりは、無色透明のカートリッジに入っており、製品名『アポカイン®皮下注30mg』を記したラベルが貼付されています。

このくすりを使う前に知っておいてほしいこと



アポカイン®インジェクター

このくすりは専用の注入器(アポカイン®インジェクター)を使って、皮下に患者さんご自身で注射*します。

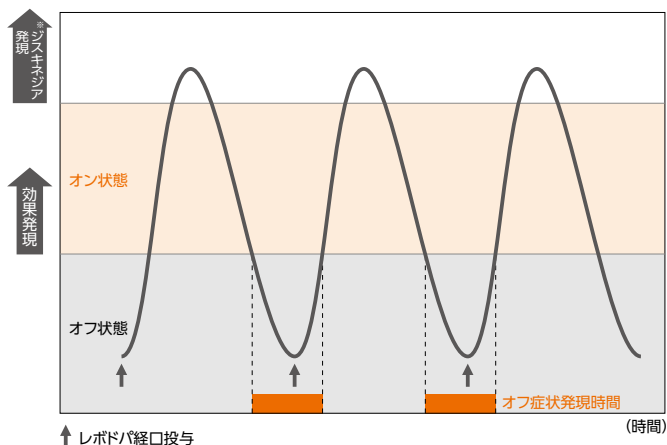
*皮下注射：皮膚は表皮、真皮、皮下組織からなっており、皮下組織までの厚さは約2mmです。皮下注射とは、皮下組織まで針を到達させて薬液を注入することです。

このくすりははたらきと使用目的

●パーキンソン病のオフ症状

パーキンソン病の治療でレボドパ製剤を長期間服用することにより、くすりの血中濃度の変化に伴って症状が悪くなる**ウェアリング・オフ現象**などが起こります。このように症状が悪くなることを**オフ症状**といいます。

アボカイン[®]は一時的に**オフ状態**を**オン状態**に改善するくすりです。



※ジスキネジア：首や手足・肩などがぐるぐるのように勝手に動く症状

オフ状態



【オフ症状の例】

- 無動：**
動き出すのに時間がかかり、全身の動作がにぶくなる
- 振戦(ふるえ)：**
静止時に、手や足、あごなどがふるえる



オン状態



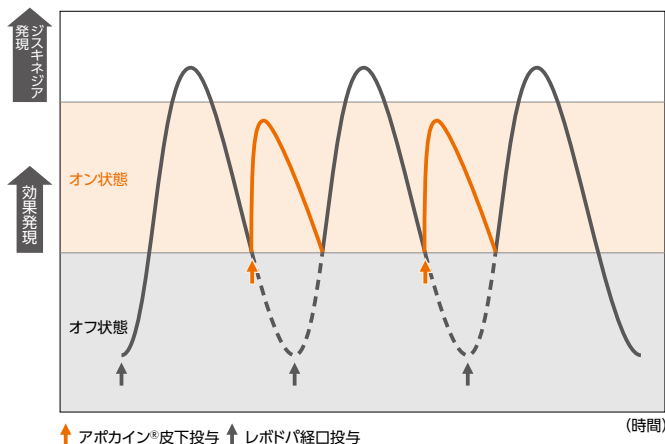
- オン状態には散歩や仕事など、通常の生活が行えます。**



●アポカイン®皮下注30mgによるレスキュー療法

アポカイン®を専用の注入器(アポカイン®インジェクター)を使って皮下に自己注射すると、注射後約20分でオフ症状が速やかに改善され、その後60分で、その効果は消失します。

アポカイン®によって日常生活で出現するオフ症状を一時的に改善する「レスキュー療法」が可能となります。



このくすりの投与について

●アポカイン®の投与量

1回の注射の投与量は、1mg(0.1mL)から6mg(0.6mL)までです。1回1mg(0.1mL)より開始し、オフ症状が改善する投与量まで1mg(0.1mL)ずつ増量して、患者さんに適した投与量を決定します。

●アポカイン®の注射の間隔・1日注射回数

注射の間隔は少なくとも2時間空けてください。1日の注射回数の上限は5回です。

アポカイン®インジェクターへの投与量の設定は、主治医の先生が行います。受診時にはアポカイン®インジェクターを持参してください。

このくすりの使い方

- このくすりは、オフ症状が出現したときに、専用の注入器(アポカイン®インジェクター)を使って、皮下に自己注射します。
- 1日5回まで使用できますが、注射の間隔は少なくとも2時間空けてください。

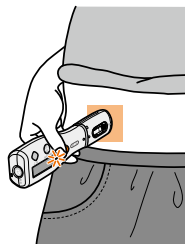


- 主治医の先生などの指示に従い、お腹や太もも、二の腕(上腕)に毎回部位を変えて注射してください。

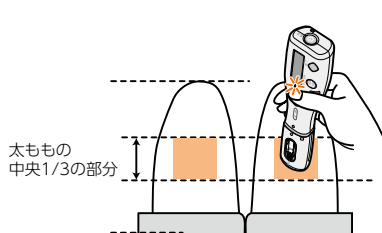
参考：注射可能部位

※注射部位は医師の指示に従ってください。

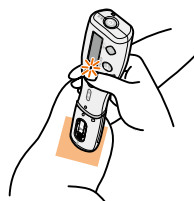
【お腹】



【太もも】



【二の腕(上腕)】



詳しい使い方については、アポカイン®インジェクター
使い方ガイドなどをよく読んで上で、主治医の先生などの
指示に従ってください。

投与量の設定は医療機関にて行いますので、受診時には
アポカイン®インジェクターを持参してください。



副作用とその対策

このくすりを使っていて次のような症状がみられた場合には、主治医の先生または薬剤師に相談してください。

【主な副作用】

●眠くなる



眠くなったり、突然強い眠気が見られる場合がありますので、自動車の運転、機械の操作、高所作業などの危険を伴う作業は避けてください。

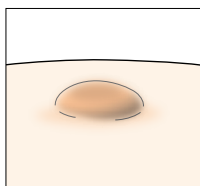
●吐き気



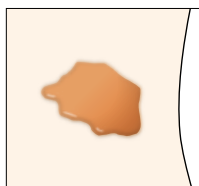
●あくび



●注射部位の変化(しこり、血腫、かゆみ)



〈しこり〉



〈血腫〉

●ジスキネジア



●血圧の低下に伴うめまい、ふらつき、立ちくらみ



●幻視



【注射部位の変化(しこり、血腫、かゆみ)への対策】

- 毎回、注射部位を変えましょう。
- 毎回、注射部位を消毒しましょう(注射針は絶対に再使用しないでください)。
- 注射部位に皮膚障害がみられる場合は、主治医の先生に相談してください。

くすりの使い方Q&A

Q1 くすりを使用しましたが、効果が弱かったので、再注射してもよいですか。

A1 くすりを使ったあと、次の注射までの間隔は少なくとも2時間空ける必要がありますので、再注射はできません。くすりの効果が弱いと感じた場合は、主治医の先生などにご相談ください。ご相談の際は、必ずインジェクターを医療機関に持参してください。

Q2 1日何回まで使ってよいですか。

A2 1日に使用できる回数は、最大5回までです。使用回数は、患者さんの症状によりさまざまですので、主治医の先生などの指示に従って使用してください。

Q3 インジェクターの使い方がよくわかりません。どのようにすればよいですか。

A3 アポカイン®インジェクター使い方ガイドに従い、再度操作を行ってください。それでもうまく使用できない場合は、主治医の先生などに相談するか、アポカイン®インジェクター サポートセンター(→p8参照)にご連絡ください。

Q4 インジェクターに取り付けたカートリッジの使用期限が切れました。どのようにすればよいですか。

A4 アポカイン®インジェクター使い方ガイドに従い、カートリッジの取り外しを行い、新しいカートリッジを取り付けてください。なお、カートリッジの使用期限は、空気抜き操作を行ってから14日以内です。

Q5 旅行などで、このくすりを持ち運ぶ場合にはどのようなことに注意すればよいですか。

A5 カートリッジはガラス製ですので取扱いに注意し、直射日光が当たるところや高温の場所に置くのは避けてください。また、インジェクターは、専用ケースに入れて持ち運ぶようにしてください。

Q6 薬液が飛び散ってしまったのですが、どうしたらよいですか。

A6 患者さんの皮膚などに付着した場合は、ただちに洗い流してください。床や家具、衣類などに付着した場合は水や薄めた洗剤液を含ませた布で拭いてください。また、目に入った場合は直ぐに洗い流してください。

Q7 使用した注射針はどうしたらよいですか。

A7 使用した注射針は絶対に再使用しないでください。使用済みの注射針は医療用廃棄物となりますので、主治医の先生などの指示に従って、適切に捨ててください。

くすりの保管方法と注意点

- カートリッジの使用期限は、空気抜きの手続きを行ってから14日以内です。14日を超えたくすりを使用することは避けてください。
- カートリッジの薬液中に浮遊物がみられる場合や、使用中に液が変色した場合は使用しないでください。
- カートリッジにひびが入っている場合は使用しないでください。
- このくすりは室温で保存してください。直射日光が当たるところや高温、氷点下となるところには置かないようにしてください。また、お子様の手の届かない場所に保管してください。
- このくすりが家具や衣類などに付着した場合は、着色するおそれがありますので、ただちに拭き取るか、洗ってください。また、目に入った場合は直ぐに洗い流してください。

【アポカイン[®]インジェクターの問い合わせ先】

大原薬品工業株式会社

アポカイン[®]インジェクター サポートセンター

製品に対するお問い合わせや異常時は、下記アポカイン[®]インジェクターサポートセンターにご連絡ください。

電話 **0120-513-122**

受付時間／9:00～17:00（土・日・祝日および弊社休日を除く）

医療機関名

主治医名

薬剤師名

大原薬品工業株式会社